PRESS RELEASE

各 位

2026 年 10 月 30 日

会社名　　セルソース株式会社
代表者名　代表取締役社長 CEO 山川 雅之
コード番号 4880 東証スタンダード
問合せ先　取締役 CFO 伊賀 智洋
TEL 03-6455-5308

脂肪由来間葉系幹細胞（ASC）加工受託サービスをアップデート

～ゼノフリー培養に加え、解凍後そのまま投与可能な凍結保存液を実装～

セルソース株式会社（代表取締役社長 CEO：山川 雅之、以下「当社」）は、これまで提供してきた脂肪由来間葉系幹細胞（以下、ASC）の加工受託サービスをアップデートいたします。本アップデートでは、異種動物由来原料を使用しない「ゼノフリー」の培養技術とともに、静脈投与に使用可能な成分のみで構成された新たな凍結保存液を実装いたします。いずれも独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の「再生医療等製品材料適格性確認書」を取得した原材料を採用しており、細胞加工物の安全性への配慮を一層高めました。さらに新たな凍結保存液の実装により、医療機関において細胞解凍後そのまま投与することが可能となります※。アップデート後のサービスは、2026 年 11 月より、一部の提携医療機関から順次提供を開始いたします。

▪ 開発の背景

ASC は、組織修復や抗炎症作用などが期待され、再生医療分野において幅広い疾患を対象とした研究・臨床応用が進められています。当社はこれまで、ASC の加工受託を通じて累計 11,400 件（2026 年 7 月末時点）の実績を積み重ねるとともに、従来同様、凍結保存液に DMSO（ジメチルスルホキシド）を含まないものを採用するなど、安全性に配慮した ASC の提供に努めてまいりました。

近年、再生医療の臨床応用の進展に伴い、細胞加工物の品質管理や生物由来原料の管理に対する関心は一層高まっています。細胞培養においては、生物由来原料に起因するリスクの低減や、原料のロット間差を抑えた安定的な製造の観点から、異種動物由来原料を使用しない培養方法に期待が寄せられています。また、凍結保存した細胞を投与する際、解凍後の洗浄・置換工程が必要な場合は、医療現場の作業負担となるほか、工程の追加に伴う細胞の損失や汚染のリスクにもつながります。当社は、こうした医療現場のニーズに応え、品質管理と利便性の向上を図った細胞加工物を医療機関へ提供することを目的として、研究開発に取り組んでまいりました。

▪ 本アップデートの概要

（1）無血清・ゼノフリー培養技術の確立

医療機関から提供された患者様の脂肪組織より ASC を単離し、無血清・ゼノフリー条件で培養します。異種動物由来原料を使用しないことで、生物由来原料の管理をさらに高度化するとともに、原料のロット間差の影響を抑え、品質の安定した細胞加工物の製造が期待されます。

（2）解凍後そのまま投与可能な凍結保存液の実装

新たに採用した凍結保存液は、DMSO 等の有機溶媒を含まず、静脈投与に使用可能な成分のみで構成されています。これにより、医療機関において解凍後に洗浄・置換等の工程を経ることなく、そのまま投与することが可能となります※。投与前の作業負担の軽減に加え、工程の削減により細胞の損失や汚染のリスクの低減が期待されます。

※ 投与方法・投与経路は、各医療機関が定める再生医療等提供計画に基づき、医師の判断により決定されます。

▪ 今後の展望

当社は本アップデートを通じて、医療機関における再生医療の治療選択肢の拡大と、品質の安定した細胞加工物の供給体制の構築を推進してまいります。今後は、初期に提供を開始する提携医療機関での運用を通じて製造・供給体制の最適化を図るとともに、提供先の拡大を検討し、再生医療分野の健全な発展と医療機関への価値提供に取り組んでまいります。

なお、本件が当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

【セルソース株式会社について】

再生医療の産業化推進を目的とし、脂肪由来幹細胞・滑膜由来幹細胞・血液の加工受託や再生医療を提供する医療機関様への法規対応サポート等の再生医療関連事業を展開しています。再生医療等安全性確保法に基づく特定細胞加工物等製造許可施設（施設番号：FA3240004）にて 13 万件超の細胞等加工を受託しており、豊富な実績をもとに医療機関様に安心してご利用いただけるサービスの提供と、研究・技術開発に努めています。

代表者　代表取締役社長 CEO　山川 雅之

所在地　東京都渋谷区渋谷 1-23-21 渋谷キャスト 11F

事業内容　再生医療関連事業

URL：https://www.cellsource.co.jp/

以 上